

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 総務-20 徴収事務									
主管課	納税課	関連課	市民税課、資産税課							
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	市税徴収率の目標を平成27年度の92.71%と設定(『新鎌倉行政経営戦略プラン・アクションプログラム』)。平成23年度から平成27年度までの5年間で5億円の増収効果を目指している。									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	18,269	18,506	16,676						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	18,269	18,506	16,676						
	人員配置数	14.5人	14.0人	12.5人						
	人件費(千円)	111,098	113,046	106,973						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	129,367	131,552	123,649						
	市民1人当りの経費(円)	727	742	698						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	平塚市	横須賀市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	南足柄市	鎌倉市
	市税全体徴収率	92.98%	93.67%	96.09%	93.93%	95.16%	95.60%	87.40%	95.50%	94.51%
	5月末現在比較									
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
市税全体徴収率(5月末)	○	目標値	92.62%	92.56%	92.61%	92.64%	92.71%			
		実績値	92.5%	93.0%	93.6%	94.5%				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
徴収事務	18,269	徴収事務	19,884	今後の方向性	A	理由・手法	市の自主財源確保に向け、組織的に徹底した進行管理をしていく。			
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・差押えた財産についてインターネット公売等を今後も積極的に活用し、換価をより一層推進する。											
課題解決のための取組	・県の共同公売と並行しインターネット公売を実施し差押物件の換価拡大を図った。(不動産2件、動産3件)								取組の結果	■解決 □未解決		
未解決の課題	・財産調査の強化と滞納処分 滞納処分をすべき件数は膨大で、限られた職員の中でいかに効率よく行うかが課題である。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	継続的な納税折衝、財産調査の徹底など引き続き滞納整理を強化し、納税担当、債権回収担当の連携を図りながらマネージメントの構築に今後も務める。								➡	A		
※□事業完了												

評価者名

納税課長

加藤 博

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
徴収事務	市税の収納、滞納整理業務				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		604	事務補助嘱託員報酬 6人	6,169	6,169	○	○	○	○
		604	臨時的任用職員賃金	1,785	1,606	○	○	○	○
		604	事務補助嘱託員費用弁償	700	418	○	○	○	○
		604	徴収用文具等消耗品費	2,763	2,598	○	○	○	○
		604	督促状等印刷製本費	858	776	○	○	○	○
		604	備品修繕料	1	32	○	○	○	○
		604	運搬料	0	12	○	○	○	○
		604	インターネット公売システム利用手数料	945	106	○	○	○	○
		604	不動産鑑定評価業務委託料	500	386	○	○	○	○
604	コンピュータ入力等業務委託料	4,385	4,385	○	○	○	○		
※□ 事業完了	604	特徴消込データパンチ業務委託料	1,714	1,713	○	○	○	○	
604	eLTA審査クライアント端末インストール作業委託料	68	68	○	○	○	○		
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								